

## 千葉県がん対策推進計画の変更に係るがん患者等の意識調査について

### 1 調査概要

#### (1) 目的

千葉県がん対策推進計画の変更にあたり、がん患者等の現状への認識及び将来への要望を把握する。

#### (2) 調査対象

①県内のがん診療連携拠点病院等、千葉県がん診療連携協力病院を利用する

がん患者：2,350人

15箇所のがん診療連携拠点病院等のがん患者 各病院100人(最大)

17箇所の千葉県がん診療連携協力病院のがん患者 各病院50人(最大)

②県内のがん患者団体会員

千葉県がん患者団体連絡協議会加盟団体会員：約350人

③一般県民

「県民参加メールマガジン」に登録しているメルマガ読者：約1,400人

#### (3) 調査期間

10月～11月

#### (4) 調査結果の報告

調査結果については、千葉県がん対策審議会に報告し、次期「千葉県がん対策推進計画（平成30年度から6年間）」に盛り込む。

### 2 調査形式

・次期計画に反映する為に、患者等のニーズの把握

・がん医療施策に関する認識度の把握

⇒拠点病院等・協力病院、患者会に対して、患者等の選出及び調査を依頼

「千葉県がん対策に関するアンケート」

本調査は、千葉県がん対策推進計画の改定にあたり、千葉県が進めているがん対策について、主に県内のがん患者の方を対象に率直なご意見を伺うことを目的に行います。

ご回答いただいた調査票は、計画の評価や見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための貴重な資料として有効に活用させていただき、他の目的には使用いたしません。また、本調査の結果を公表する場合は、個人が特定できるような形で外部に公表されることは一切ございません。

ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、本調査にご協力いただかなくても、治療上の不利益を被ることは一切ありませんので、申し添えます。

《ご記入上のお願い》

- お名前やご住所を記入する必要はありません。
- お答えは、当てはまるものの番号に○をつけるか、[ ] に記入してください。

本調査についてのお問合せ先 千葉県健康づくり支援課 がん対策班  
電話：043(223)2686・2402 FAX：043(225)0322  
E-mail:cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

●患者さんについて

問1 あなたの現在の年齢は満でおいくつですか。次の1～8の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 20歳未満    2 20～29歳    3 30～39歳    4 40～49歳  
5 50～59歳    6 60～69歳    7 70～79歳    8 80歳以上

問2 あなたの性別について、次の1～2のいずれかに○をつけてください。

1 男性            2 女性

問3 現在のお住まいの市町村名をアンダーライン上にご記入ください。

\_\_\_\_\_ (市・町・村)



問8 これまでに受けた治療について、次の1~4の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、4の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 手術（外科治療、内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術を含む）
- 2 化学療法（抗がん剤治療、ホルモン療法、分子標的治療を含む）
- 3 放射線療法
- 4 その他 [ ]

### ●医療提供体制について

問9 がん治療を受けるにあたって、医療関係者から病気や治療について話を聞きましたか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 説明を受けて、理解した上で納得した
- 2 説明を受けて、理解した
- 3 説明を受けたが、理解できなかった
- 4 説明を受けたことがない

問10 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」（資料参照）について、どのように説明されましたか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 セカンド・オピニオンを受けることを積極的に勧められた
- 2 セカンド・オピニオンを受ける方法もあることを説明された
- 3 特に説明されなかった
- 4 わからない・覚えていない

(資料) セカンド・オピニオンとは  
○よりよい決定をするために、もう一人の人から聴取する意見。医療の分野では、一人の医師の意見だけを聞いて決めてしまわずに、別の医師の意見も聞いて患者が治療法などを決めることを指す。

問11 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかと言えば、必要だと思う
- 3 どちらかと言えば、必要ではない
- 4 必要ではない

問 12 治療が一段落し定期的な検査のための通院となった時、あなたは次のどれを選びますか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 がん診療連携拠点病院（資料参照）を含むがんの専門病院に通う
- 2 最初がんと診断された病院（上記1以外の病院）に引き続き通う
- 3 自宅の近くに同じ検査を受けられる病院やかかりつけ医があればそこに通う
- 4 わからない

（資料）がん診療連携拠点病院とは  
○どこの地域に住んでいても、同程度の医療が受けられるよう、がん医療水準の向上と地域格差の解消を目的として、国が一定の要件を満たす医療機関を「がん診療連携拠点病院」として指定したもの  
○我が国に多いがん（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん）に対応

### ●緩和ケアについて

問 13 「緩和ケア」（資料参照）について、あなたにとって当てはまるものはどれですか。次の1~7の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 （資料のような）「緩和ケア」の意味を十分知っていた
- 2 痛みなどの身体症状のみを対象とすると思っていた
- 3 終末期の患者だけを対象とすると思っていた
- 4 治療と並行でなく、単独で行われるもの（他の治療と合わせて受けられないもの）と思っていた
- 5 病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われなかった
- 6 よくわからないが、聞いたことがある
- 7 知らなかった

（資料）緩和ケアとは  
○生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体、つらさ、気持ちのつらさ、生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や家族が直面するさまざまな問題に対し援助することによって、クオリティー・オブ・ライフ（QOL：生活の質）を改善するアプローチ。  
○病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があるとされている。

問 14-1 あなたは、がんの緩和ケアを受けたことがありますか。次の1~3のいずれかに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問 14-2 問 14-1 で「がんの緩和ケアを受けたことがある」と答えた方に質問します。提供された緩和ケアは満足いくものですか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 満足
- 2 どちらかと言えば満足
- 3 どちらかと言えば不満足
- 4 不満足

●在宅医療について

問 15 がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることができるとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。次の 1~9 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 なるべく早く今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要に応じて今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要に応じて緩和ケア病棟に入院したい
- 5 自宅で最後まで療養したい
- 6 がんセンターなど、がん専門の医療機関で積極的に治療を受けたい
- 7 老人ホーム、介護付き施設に入所したい
- 8 その他 [ ]
- 9 わからない

問 16 不快な症状や痛みが自宅（施設）においても緩和できるとしたら、どこで最後を迎えたいと思いますか。次の 1~6 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 病院（緩和ケア病棟以外）      2 緩和ケア病棟・ホスピス      3 自宅
- 4 介護付き施設（老人ホームなど）      5 その他      6 わからない

問 17 ご自宅で過ごすことを想定した場合、どのサービスの充実を望みますか。次の 1~7 の中から当てはまるものに3つだけ○をつけてください。また、7 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 24 時間対応してくれる診療所（在宅療養支援診療所（資料参照）など）
- 2 緊急時入院できる病院
- 3 訪問してくれる看護師
- 4 家事・介護を頼めるヘルパー
- 5 デイホスピス（がん患者が日中過ごせる施設）
- 6 地域のボランティア（患者会、家族会、NPO 等）
- 7 その他 [ ]

（資料）在宅療養支援診療所とは  
○24 時間 365 日体制で往診や訪問看護を行う診療所のこと。

●相談支援・情報提供について

問 18 がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。次の1~9の中から当てはまるものに3つだけ○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 死への恐れ、孤独感など精神的なこと
- 2 痛み、副作用、後遺症などの身体的なこと
- 3 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと
- 4 仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり
- 5 手術、抗がん剤など治療のこと
- 6 治療を受ける医療機関のこと
- 7 収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと
- 8 これからの生き方、生きる意味などに関すること
- 9 その他 [ ]

問 19-1 がん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センターは、がん医療に関する相談、セカンド・オピニオンを受けられる医師の紹介、がん検診に関する情報発信や相談、就労や療養生活に関すること等のがんについての様々な相談を受ける窓口となっています。あなたはがん相談支援センターを利用したことはありますか？次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことはないが、知っている
- 3 知らない
- 4 わからない

問 19-2 問 19-1 で「利用したことがある」と答えた方に質問します。この「相談支援センター」の取組みが、患者への相談支援・情報提供に役立っていると思いますか。次の1~5の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 役立っている
- 2 ある程度役立っている
- 3 あまり役立っていない
- 4 役立っていない
- 5 わからない

問 20 あなたは、がんに関する情報について、どのようなところから情報を得ていますか。次の1~13の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、13の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 病院の医師・看護師
- 2 近隣のかかりつけ医
- 3 家族など身内
- 4 がん相談支援センターの相談員等
- 5 同じようながんを経験した先輩や仲間
- 6 友人
- 7 新聞
- 8 雑誌（専門誌を含む）
- 9 書籍
- 10 （病院内などの）ポスター、パンフレット
- 11 テレビ・ラジオ番組
- 12 インターネット
- 13 その他 [ ]



問 21 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」ではがんに関する知識や、県内の医療機関や、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 知っている。利用している | 2 知っている。見たことがある |
| 3 知っている        | 4 知らない          |

### ●がん患者の就労について

問 22 最初にごんと診断された時に、就労されていた方に伺います。あなたの診断時の職業は何ですか。次の1~9の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容を記載してください。

- |           |            |             |        |
|-----------|------------|-------------|--------|
| 1 自営業     | 2 家族従業者    | 3 会社正規職員    | 4 会社役員 |
| 5 公務員     | 6 派遣・契約・嘱託 | 7 パート・アルバイト | 8 内職   |
| 9 その他 [ ] |            |             |        |

問 23 最初にごんと診断された時に、就労されていた方に伺います。現在、診断時の職場との関係はどのようになっていますか。次の1~7の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、7の場合は、[ ]の中に具体的内容を記載してください。

- |                   |                 |         |        |
|-------------------|-----------------|---------|--------|
| 1 現在、診断時と同じ職場で勤務中 | 2 診断時と別の部署に異動した |         |        |
| 3 休職（休業）中         | 4 依願退職した        | 5 解雇された | 6 廃業した |
| 7 その他 [ ]         |                 |         |        |

問 24 最初にごんと診断された時に、就労されていた方に伺います。診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援は得られましたか。次の1~5の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、5の場合は、[ ]の中に具体的内容を記載してください。

- |                |            |           |
|----------------|------------|-----------|
| 1 十分得られた       | 2 ある程度得られた | 3 得られなかった |
| 4 理解・支援は必要なかった | 5 その他 [ ]  |           |

問 25 最初にごんと診断された時に、就労されていた方に伺います。治療と仕事の両立など、就労に関してどこに相談しましたか。次の1~9の中から、当てはまるものにいくつでも○をしてください。また9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- |                             |                  |
|-----------------------------|------------------|
| 1 医療機関（主治医）                 |                  |
| 2 がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院内設置） |                  |
| 3 就労中の事業所（人事担当）             | 4 就労中の事業所（直属の上司） |
| 5 社会保険労務士                   | 6 産業医            |
| 7 産業保険総合支援センター・地域産業保健センター   |                  |
| 8 がん患者団体・がん患者支援団体           |                  |
| 9 その他 [ ]                   |                  |



●がん検診について

問 26 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。次の1~5の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 そう思う    2 どちらかと言えばそう思う  
3 どちらかと言えばそう思わない    4 そう思わない    5 わからない

問 27 がん検診を受診する際、どのようなサービス、システムがあれば受けやすいですか？次の1~9の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 個別に検診の通知が届く  
2 土日・祝日等に受けられる  
3 早朝や夜間に受けられる  
4 集団検診（指定された日時と場所で検診車などを利用して集団で行う検診）が受けられる  
5 医療機関で個別検診が受けられる  
6 同日に複数の検診（特定健診（資料参照）とがん検診など）が受けられる  
7 無料で検診が受けられる  
8 インターネットで申し込みができる  
9 その他 [ ]

(資料) 特定健診とは  
○日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行う健診のこと。

問 28 県では、がん検診の受診率向上を目指して様々な取組みを行っていますが、次の1~6の中からあなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

また、この他、受診率向上のために効果的と思われる取組みがありましたら [ ] 内にご記入ください。

- 1 がん予防展・がん講演会  
2 ピンクリボンキャンペーン  
3 がん検診受診促進企業連携事業  
4 がん検診推進員養成講習  
5 県庁ホームページでのがん検診情報の提供  
6 知っているものはない

この他、受診率向上のために効果的と思われる取組みがありましたらご記入ください。  
[ ]

## ●がん教育について

問 29 子どもの頃から、自他の健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい理解を深めるための「がん教育」をあなたが行うとしたら、子どもたちにどのようなことを伝えたいですか？次の 1~8 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 「がん」は日本人にとって、身近な病気である
- 2 がん発生のしくみ
- 3 たばこは様々ながんになる危険がある
- 4 がんは生活習慣に気をつけることで、ある程度予防できる
- 5 がん検診を受けて早い段階で見つけることで治る可能性が高くなる
- 6 がんの治療には、手術のほかに抗がん剤や放射線療法の治療がある
- 7 がんの体験を話し、自分や周りの人の「いのち」について考える
- 8 その他 [ ]

## ●がん登録について

問 30-1 日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する「全国がん登録事業」が平成 28 年 1 月から始まりましたが、あなたは、このような取り組みをご存知ですか？次の 1~4 の中から当てはまるものに1 つだけ○をつけてください。

- 1 知っている    2 ある程度知っている    3 あまり知らない
- 4 知らない

問 30-2 全国がん登録事業によって、がんに関する正確な統計が整備されると、様々なメリットが期待できますが、あなたは何に期待しますか？次の 1~5 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、5 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 正確なデータに基づき、がんの早期発見に向けた対策を行えるようになること
- 2 大学などの学術機関や民間企業の研究者が研究に利用し、がんの予防法や治療法の開発に役立てること
- 3 一般の人が日本のがんの状況について情報を得ることができるようになること
- 4 正確なデータに基づき、がんの医療提供体制を評価・検討できること
- 5 その他 [ ]

●がん対策に関する県への要望について

問 31 あなたは、がん対策について、県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。次の 1～16 の中から当てはまるものいくつか○をつけてください。また、15 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 がんの予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）
- 2 がんの早期発見（がん検診）
- 3 がんに関する専門的医療従事者の育成
- 4 がん医療に関わる医療機関の整備
- 5 がんに関する情報提供
- 6 がんに関する相談支援
- 7 がん治療の推進（手術療法、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）
- 8 緩和ケアの提供体制の整備
- 9 がん登録の推進
- 10 がんの在宅医療の体制整備
- 11 子どもや若年層からの教育
- 12 小児がん対策の充実
- 13 がん患者の就労に関する問題への対応
- 14 療養生活環境の整備
- 15 その他 [ ]
- 16 特になし

問 32 その他、県のがん対策についてのご意見など、自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございます



「千葉県がん対策に関するアンケート」

本調査は、千葉県がん対策推進計画の改定にあたり、千葉県が進めているがん対策について、主に県内のがん患者等の方を対象に率直なご意見を伺うことを目的に行います。

ご回答いただいた調査票は、計画の評価や見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための貴重な資料として有効に活用させていただき、他の目的には使用いたしません。また、本調査の結果を公表する場合は、個人が特定できるような形で外部に公表されることは一切ございません。

ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

《ご記入上のお願い》

- お名前やご住所を記入する必要はありません。
- お答えは、当てはまるものの番号に○をつけるか、[ ] に記入してください。

本調査についてのお問合せ先 千葉県健康づくり支援課 がん対策班  
電話：043(223)2686・2402 FAX：043(225)0322  
E-mail:cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

●記入者について

問1 このアンケートのご記入者について、次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |   |              |   |      |   |    |
|---|--------------|---|------|---|----|
| 1 | がん患者（経験者を含む） | 2 | 患者家族 | 3 | 遺族 |
| 4 | その他 [ ]      |   |      |   |    |

問2 あなたの現在の年齢は満でおいくつですか。次の1~8の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |   |        |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 20歳未満  | 2 | 20~29歳 | 3 | 30~39歳 | 4 | 40~49歳 |
| 5 | 50~59歳 | 6 | 60~69歳 | 7 | 70~79歳 | 8 | 80歳以上  |

問3 あなたの性別について、次の1~2のいずれかに○をつけてください。

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

問4 あなたの現在のお住まいの市町村名をアンダーライン上にご記入ください。

\_\_\_\_\_（市・町・村）

※これからの質問（問5～問15）は、現在、治療中のがん患者さんにお聞きします。  
※その他の方は問16にお進みください。

問5 最初にがんと診断された時期、満年齢をアンダーライン上にご記入ください。

_____年_____月（_____歳の時）
------------------------

問6 最初に診断されたがんの種類について、1～15の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください（再発、転移を除く）。また、15の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1 咽頭がん・喉頭がん	2 肺がん	3 食道がん	4 胃がん
5 肝臓がん	6 膵臓がん	7 乳がん	8 子宮がん
9 卵巣がん	10 膀胱がん	11 前立腺がん	12 大腸がん
13 白血病	14 悪性リンパ腫	15 その他 [ _____ ]	

問7 最初に診断されたがんは、どのような状況で発見されたのですか。次の1～4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、4の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1 がん検診受診がきっかけで見つかった
2 自覚症状があり病院受診で見つかった
3 他の病気の治療中に見つかった
4 その他 [ _____ ]

問8 これまでに受けた治療について、次の1～4の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、4の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1 手術（外科治療、内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術を含む）
2 化学療法（抗がん剤治療、ホルモン療法、分子標的治療を含む）
3 放射線療法
4 その他 [ _____ ]

問9 がん治療を受けるにあたって、医療関係者から病気や治療について話を聞きましたか。次の1～4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 説明を受けて、理解した上で納得した
2 説明を受けて、理解した
3 説明を受けたが、理解できなかった
4 説明を受けたことがない

問 10 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」(資料参照)について、どのように説明されましたか。次の 1～4 の中から当てはまるものに 1つだけ○をつけてください。

- 1 セカンド・オピニオンを受けることを積極的に勧められた
- 2 セカンド・オピニオンを受ける方法もあることを説明された
- 3 特に説明されなかった
- 4 わからない・覚えていない

(資料) セカンド・オピニオンとは  
○よりよい決定をするために、もう一人の人から聴取する意見。医療の分野では、一人の医師の意見だけを聞いて決めてしまわずに、別の医師の意見も聞いて患者が治療法などを決めることを指す。

問 11 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」が必要だと思いませんか。次の 1～4 の中から当てはまるものに 1つだけ○をつけてください。

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかと言えば、必要だと思う
- 3 どちらかと言えば、必要ではない
- 4 必要ではない

問 12 最初がんと診断された時に、就労されていた方に伺います。あなたの診断時の職業は何ですか。次の 1～9 の中から当てはまるものに 1つだけ○をつけてください。また、9 の場合は、[ ] の中に具体的内容を記載してください。

- 1 自営業
- 2 家族従業者
- 3 会社正規職員
- 4 会社役員
- 5 公務員
- 6 派遣・契約・嘱託
- 7 パート・アルバイト
- 8 内職
- 9 その他 [ ]

問 13 最初がんと診断された時に、就労されていた方に伺います。現在、診断時の職場との関係はどのようになっていますか。次の 1～7 の中から当てはまるものに 1つだけ○をつけてください。また、7 の場合は、[ ] の中に具体的内容を記載してください。

- 1 現在、診断時と同じ職場で勤務中
- 2 診断時と別の部署に異動した
- 3 休職(休業)中
- 4 依願退職した
- 5 解雇された
- 6 廃業した
- 7 その他 [ ]

問 14 最初がんと診断された時に、就労されていた方に伺います。診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援は得られましたか。次の 1～5 の中から当てはまるものに 1つだけ○をつけてください。また、5 の場合は、[ ] の中に具体的内容を記載してください。

- 1 十分得られた
- 2 ある程度得られた
- 3 得られなかった
- 4 理解・支援は必要なかった
- 5 その他 [ ]

問 15 最初にがんと診断された時に、就労されていた方に伺います。治療と仕事の両立など、就労に関してどこに相談しましたか。次の1~9の中から、当てはまるものにいくつでも○をしてください。また9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- |   |                           |   |                |
|---|---------------------------|---|----------------|
| 1 | 医療機関（主治医）                 |   |                |
| 2 | がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院内設置） |   |                |
| 3 | 就労中の事業所（人事担当）             | 4 | 就労中の事業所（直属の上司） |
| 5 | 社会保険労務士                   | 6 | 産業医            |
| 7 | 産業保険総合支援センター・地域産業保健センター   |   |                |
| 8 | がん患者団体・がん患者支援団体           |   |                |
| 9 | その他 [ ]                   |   |                |



※これからの質問（問 16～問 32）は、全ての方にお聞きします。

問 16 治療が一段落し定期的な検査のための通院となった時、あなたは次のどれを選びますか。次の 1～4 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 がん診療連携拠点病院（資料参照）を含むがんの専門病院に通う
- 2 最初にごんと診断された病院（上記 1 以外の病院）に引き続き通う
- 3 自宅の近くに同じ検査を受けられる病院やかかりつけ医があればそこに通う
- 4 わからない

（資料）がん診療連携拠点病院とは

○どこの地域に住んでいても、同程度の医療が受けられるよう、がん医療水準の向上と地域格差の解消を目的として、国が一定の要件を満たす医療機関を「がん診療連携拠点病院」として指定したもの  
○我が国に多いがん（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん）に対応

問 17 「緩和ケア」（資料参照）について、あなたにとって当てはまるものはどれですか。次の 1～7 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 （資料のような）「緩和ケア」の意味を十分知っていた
- 2 痛みなどの身体症状のみを対象とすると思っていた
- 3 終末期の患者だけを対象とすると思っていた
- 4 治療と並行でなく、単独で行われるもの（他の治療と合わせて受けられないもの）と思っていた
- 5 病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われなかったと思っていた
- 6 よくわからないが、聞いたことがある
- 7 知らなかった

（資料）緩和ケアとは

○生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体の不快感、気持ちの不快感、生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や家族が直面するさまざまな問題に対し援助することによって、クオリティー・オブ・ライフ（QOL：生活の質）を改善するアプローチ。  
○病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があるとされている。

問 18-1 あなたは、がんの緩和ケアを受けたことがありますか。次の 1～3 のいずれかに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問 18-2 問 18-1 で「がんの緩和ケアを受けたことがある」と答えた方に質問します。提供された緩和ケアは満足のものですか。次の 1～4 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 満足
- 2 どちらかと言えば満足
- 3 どちらかと言えば不満足
- 4 不満足

問 19 がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることができるとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。次の 1～9 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 なるべく早く今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要に応じて今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要に応じて緩和ケア病棟に入院したい
- 5 自宅で最後まで療養したい
- 6 がんセンターなど、がん専門の医療機関で積極的に治療を受けたい
- 7 老人ホーム、介護付き施設に入所したい
- 8 その他 [ ]
- 9 わからない

問 20 不快な症状や痛みが自宅（施設）においても緩和できるとしたら、どこで最後を迎えたいと思いますか。次の 1～6 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 病院（緩和ケア病棟以外）      2 緩和ケア病棟・ホスピス      3 自宅
- 4 介護付き施設（老人ホームなど）      5 その他      6 わからない

問 21 ご自宅で過ごすことを想定した場合、どのサービスの充実を望みますか。次の 1～7 の中から当てはまるものに3つだけ○をつけてください。また、7 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 24 時間対応してくれる診療所（在宅療養支援診療所（資料参照）など）
- 2 緊急時入院できる病院
- 3 訪問してくれる看護師
- 4 家事・介護を頼めるヘルパー
- 5 デイホスピス（がん患者が日中過ごせる施設）
- 6 地域のボランティア（患者会、家族会、NPO 等）
- 7 その他 [ ]

（資料）在宅療養支援診療所とは

○24 時間 365 日体制で往診や訪問看護を行う診療所のこと。

問 22 がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。次の1~9の中から当てはまるものに3つだけ○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 死への恐れ、孤独感など精神的なこと
- 2 痛み、副作用、後遺症などの身体的なこと
- 3 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと
- 4 仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり
- 5 手術、抗がん剤など治療のこと
- 6 治療を受ける医療機関のこと
- 7 収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと
- 8 これからの生き方、生きる意味などに関すること
- 9 その他[ ]

問 23-1 がん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センターは、がん医療に関する相談、セカンド・オピニオンを受けられる医師の紹介、がん検診に関する情報発信や相談、就労や療養生活に関すること等のがんについての様々な相談を受ける窓口となっています。あなたはがん相談支援センターを利用したことはありますか？次の1~4の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことはないが、知っている
- 3 知らない
- 4 わからない

問 23-2 問 23-1 で「利用したことがある」と答えた方に質問します。この「相談支援センター」の取組みが、患者への相談支援・情報提供に役立っていると思いますか。次の1~5の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 役立っている
- 2 ある程度役立っている
- 3 あまり役立っていない
- 4 役立っていない
- 5 わからない

問 24 あなたは、がんに関する情報について、どのようなところから情報を得ていますか。次の1~13の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、13の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 病院の医師・看護師
- 2 近隣のかかりつけ医
- 3 家族など身内
- 4 がん相談支援センターの相談員等
- 5 同じようながんを経験した先輩や仲間
- 6 友人
- 7 新聞
- 8 雑誌（専門誌を含む）
- 9 書籍
- 10 （病院内などの）ポスター、パンフレット
- 11 テレビ・ラジオ番組
- 12 インターネット
- 13 その他[ ]

問 25 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」ではがんに関する知識や、県内の医療機関や、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。次の 1~4 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 知っている。利用している | 2 知っている。見たことがある |
| 3 知っている        | 4 知らない          |

問 26 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。次の 1~5 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                   |                 |         |
|-------------------|-----------------|---------|
| 1 そう思う            | 2 どちらかと言えば、そう思う |         |
| 3 どちらかと言えば、そう思わない | 4 そう思わない        | 5 わからない |

問 27 がん検診を受診する際、どのようなサービス、システムがあれば受けやすいですか？次の 1~9 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、9 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- |  |
|--|
| 1 個別に検診の通知が届けられる                             |
| 2 土・日・祝日等に受けられる                              |
| 3 早朝や夜間に受けられる                                |
| 4 集団検診（指定された日時と場所で検診車などを利用して集団で行う検診）         |
| 5 医療機関で個別検診が受けられる                            |
| 6 同日に複数の検診（ <u>特定健診（資料参照）</u> とがん検診など）が受けられる |
| 7 無料で検診が受けられる                                |
| 8 インターネットで申し込みができる                           |
| 9 その他 [ ]                                    |

（資料）特定健診とは

○日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行う健診のこと。

問 28 県では、がん検診の受診率向上を目指して様々な取組みを行っていますが、次の 1~6 の中からあなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

また、この他、受診率向上のために効果的と思われる取組みがありましたら [ ] 内にご記入ください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 がん予防展・がん講演会         |
| 2 ピンクリボンキャンペーン        |
| 3 がん検診受診促進企業連携事業      |
| 4 がん検診推進員養成講習         |
| 5 県庁ホームページでのがん検診情報の提供 |
| 6 知っているものはない          |

この他、受診率向上のため効果的と思われる取組みがありましたらご記入ください。

[ ]

問 29 子どもの頃から、自他の健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい理解を深めるための「がん教育」をあなたが行うとしたら、子どもたちにどのようなことを伝えたいですか？次の 1~8 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 「がん」は日本人にとって、身近な病気である
- 2 がん発生のしくみ
- 3 たばこは様々ながんになる危険がある
- 4 がんは生活習慣に気をつけることで、ある程度予防できる
- 5 がん検診を受けて早い段階で見つけることで治る可能性が高くなる
- 6 がんの治療には、手術のほかに抗がん剤や放射線療法の治療がある
- 7 がんの体験を話し、自分や周りの人の「いのち」について考える
- 8 その他 [ ]

問 30-1 日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する「全国がん登録事業」が平成 28 年 1 月から始まりましたが、あなたは、このような取り組みをご存知ですか？次の 1~4 の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 知っている      2 ある程度知っている      3 あまり知らない
- 4 知らない

問 30-2 全国がん登録事業によって、がんに関する正確な統計が整備されると、様々なメリットが期待できますが、あなたは何に期待しますか？次の 1~5 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、5 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 正確なデータに基づき、がんの早期発見に向けた対策を行えるようになること
- 2 大学などの学術機関や民間企業の研究者が研究に利用し、がんの予防法や治療法の開発に役立てること
- 3 一般の人が日本のがんの状況について情報を得ることができるようになること
- 4 正確なデータに基づき、がんの医療提供体制を評価・検討できること
- 5 その他 [ ]

問 31 あなたは、がん対策について、県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。次の 1～16 の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、15 の場合は、[ ] の中に具体的内容をご記入ください。

- 1 がんの予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）
- 2 がんの早期発見（がん検診）
- 3 がんに関する専門的医療従事者の育成
- 4 がん医療に関わる医療機関の整備
- 5 がんに関する情報提供
- 6 がんに関する相談支援
- 7 がん治療の推進（手術療法、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）
- 8 緩和ケアの提供体制の整備
- 9 がん登録の推進
- 10 がんの在宅医療の体制整備
- 11 子どもや若年層からの教育
- 12 小児がん対策の充実
- 13 がん患者の就労に関する問題への対応
- 14 療養生活環境の整備
- 15 その他 [ ]
- 16 特になし

問 32 その他、県のがん対策についてのご意見など、自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました



# 千葉県がん対策に関する調査について

## 《目的及び活用方法》

県では、「千葉県がん対策推進計画」（計画期間：平成25年度～29年度）に基づき、がんの予防・早期発見、医療、相談・情報提供・患者の生活支援などのがん対策を総合的かつ計画的に推進しています。

計画の見直しに当たり、県が進めているがん対策について、皆様が普段感じていること、あるいは考えておられることなどを把握し、計画の評価や見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための資料として活用することを目的として、皆様のご意見をお伺いします。

（想定所要時間：3分ほど）

○調査内容に関するお問い合わせ先

健康福祉部健康づくり支援課がん対策班

TEL：043（223）2686・2402

E-mail：[cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp)

はじめに、調査結果を統計的に分析するために必要なことごとをお聞かせください。

F1. あなたの居住地について、お答えください。

（市・町・村）

F2. あなたの年齢について、お答えください。

- 1. 18歳～19歳
- 2. 20歳～29歳
- 3. 30歳～39歳
- 4. 40歳～49歳
- 5. 50歳～59歳
- 6. 60歳～69歳
- 7. 70歳以上

F3. あなたの性別について、お答えください。

- 1. 男性
- 2. 女性

問1. あなたは、がんを予防するために日頃からどんなことを実践していますか。

（いくつでも）

- 1. たばこは吸わないようにする
- 2. お酒はほどほどにする
- 3. 塩辛いものは控えめにする



- 4. 野菜・果物を十分とる
- 5. 適度に運動をする
- 6. 太り過ぎや、やせ過ぎにならないよう、適切な体重維持を心がける
- 7. 肝炎ウイルスなどの検査を受ける
- 8. 定期的のがん検診を受ける
- 9. 身体の異常に気がいたら、すぐに医療機関を受診する
- 10. その他（具体的に：30字以内）

問2. あなたは、がんに関する情報について、どのようなところから情報を得ていますか。

（いくつでも）

- 1. 新聞・雑誌（専門誌を含む）
- 2. 書籍
- 3. テレビ・ラジオ番組
- 4. インターネット（各種ホームページ、SNS等）
- 5. （病院内などの）ポスター、パンフレット
- 6. 通っている医療機関の医師
- 7. 友人・知人
- 8. その他（具体的に：30字以内）

問3. がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」では、がんに関する知識や、県内の医療機関、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。（「千葉県がん情報 ちばがんナビ」のページはこちら『<http://www.pref.chiba.lg.jp/pbgmv/>』）（1つ選択）

- 1. 知っており、利用している
- 2. 知っているが、利用したことはない
- 3. 知らない

問4. がんと診断されてもすぐに仕事を辞める必要はない場合、治療と仕事を両立しながら、約7割の方は同じ職場に復帰していると言われています。

あなたが、がんと診断されたとしたら、治療と現在の仕事を両立していくにあたって、どのような支援が必要だと思いますか。（いくつでも）

- 1. 勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実
- 2. 相談機関（がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院（※1）に設置）や地域産業保健センター（※2）等）のサポート

- 3. がん経験者間の交流・相談の機会
- 4. 主治医や医療機関のサポート
- 5. 勤務先の上司、同僚、人事担当や産業医等のサポート
- 6. 両立は考えず、治療に専念する
- 7. 職場には、がんであることは言いたくない
- 8. その他（具体的に：30字以内）

(※1) がん診療連携拠点病院とは

どこの地域に住んでいても、同程度の医療が受けられるよう、国が指定した一定の要件を満たす医療機関であり、我が国に多いがん（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん）に対応して、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援等を行っている。

(詳細はこちら『<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/kyotenbyouin.html>』)

(※2) 地域産業保健センターとは

労働者50人未満の小規模事業場の事業者と労働者を対象として、産業保健サービスを無料で提供している。

(詳細はこちら『<https://www.chibas.johas.go.jp/kensanpo/index.html>』)

問5. がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることができるとしたら、どのように過ごしたいと思いますか。（1つ選択）

- 1. 現在通院中の医療機関へ早期に入院したい
- 2. 自宅（老人ホーム、介護付き施設含む）で療養し、必要に応じて医療機関に入院したい
- 3. 自宅（老人ホーム、介護付き施設含む）で最後まで療養したい
- 4. がん専門の医療機関で積極的に治療を受けたい
- 5. わからない
- 6. その他（具体的に：30字以内）

問6. あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（いくつでも）

- 1. がんの予防・早期発見（がん検診）
- 2. がん医療に関わる医療推進体制の整備
- 3. がんに関する情報提供・相談支援
- 4. がん治療の推進（手術療法、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）

- 5. 緩和ケア（※3）の提供体制の整備
- 6. がん登録（※4）の推進
- 7. がんの在宅医療の体制整備
- 8. 子どもや若年層からの教育
- 9. 小児がん対策の充実
- 10. がん患者の就労支援
- 11. その他（具体的に：30字以内）

（※3）緩和ケアとは

生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体をつらさ、気持ちのつらさ、生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や家族が直面するさまざまな問題に対し援助することによって、クオリティー・オブライフ（QOL：生活の質）を改善するアプローチ。

病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があるとされている。

（※4）がん登録とは

がん患者について、診断、治療およびその後の転帰に関する情報を収集し、保管、整理、解析する仕組み。

（詳細はこちら『<http://www.jacr.info/about/registry.html>』）

---

送信は1回のみ有効です。

入力もれがないかを確認して送信ボタンをクリックしてください。